

駒大生社会連携プロジェクト ニュースレター

SEED (シード)

Vol.036

- 今年度の駒大生社会連携プロジェクトについては、[令和8年度「駒大生社会連携プロジェクト」](#)をご覧ください。
- 駒澤大学の社会連携に関する最新情報は、[社会連携センターのホームページ](#)のほか、社会連携センターSNSでも発信中です。フォローよろしくお願いします！
[X \(@koma_collabo\)](#) [Instagram \(koma_collabo\)](#)

経済学部 松田 健 先生プロジェクト

「SAFサクッ茨城フェア！」を開催するとともに、SAFの普及活動を行いました！

活動テーマ 食から空へー再価値化による循環型社会

2026年7月6日から10日まで、駒澤大学の学食において、「茨城を食べよう収穫祭2026」の事前プロモーションとして「SAFサクッ茨城フェア！」を開催するとともに、SAFの普及活動を行いました。「SAFサクッ茨城フェア！」では銀座スエヒロカフェテリアサービス株式会社のご協力のもと、茨城県産の食材を使った日替わりメニューを販売し、全日完売することができました。



▲日替わりメニューのサンプル



▲学食での活動時の様子

「SAFサクッ茨城フェア！」期間中は大学内にSAFに関するポスターを掲示し、利用者を対象としたアンケート調査も実施して普及活動に努めました。また、今回のフェアのメニュー調理で発生した廃食用油の回収に向けて、日揮ホールディングス株式会社を訪問し、油の回収やその実現可能性について直接お話を伺いました。私たちはこれらの活動を起点として、将来的には今回のフェアで回収した廃食用油、そして「茨城を食べよう収穫祭2026」で発生した油をSAFへと変え、茨城空港から飛行機を飛ばすという、茨城県での廃食用油を使ったエネルギーの循環を実現することを目指しています。



▲アンケート実施の様子



▲日揮ホールディングス訪問時の様子

今後の活動についてはSNSで発信中です。ぜひフォローよろしくお願いします。

https://www.instagram.com/koto.guri_3232?igsh=MTFxcmwxbWFzcjVldg==

経営学部 杉西 優一 先生主担当プロジェクト

よこはま動物園ズーラシアにて、来園者へのアンケートを実施しました！

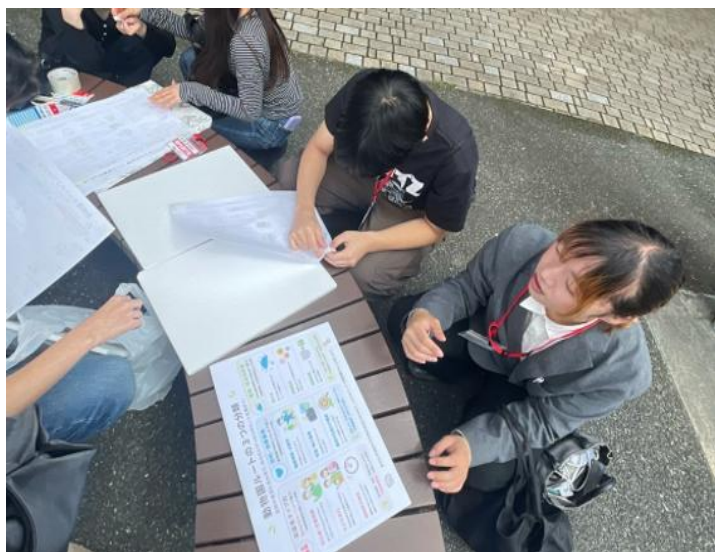
活動テーマ 動物園の新たな楽しみ方をデザインする —みんなの視点で考える未来のかたち—

私たちのプロジェクトでは、屋外施設である動物園を対象に、これまでの展示が持つ価値を改めて見つめ直し、その魅力をさらに引き出す新たな楽しみ方を検討しています。よこはま動物園ズーラシアにご協力いただき、現地調査やアンケートをもとに、自分たちのアイデアに基づく広報・イベント施策の提案から実施、検証までを行う予定です。

プロジェクト開始前に、よこはま動物園ズーラシアの方々と複数回にわたり打合せや現地調査を行い、

- (1)動物の動きも、来園者の足取りも鈍りがちな冬季に、動物園をより楽しんでもらうための施策
- (2)雨天や時間制限など、限られた条件下で広い動物園を最大限楽しむための施策という2つの方向性で検討を進めてきました。

今回は、施策(2)の検討状況についてご報告します！



▲ 6月10日現地調査の様子



▲ 6月17日現地調査の様子

施策(2) は、動物園について「園内が広く回り方が分かりにくい」「滞在時間や体力によって満足度が変わる」「天候の影響を受けやすい」といった背景を踏まえ、来園者のニーズに応じたルート进行を設計し、満足度向上につなげることを目的としています。

まず、事前アンケート(1月・2月、回答数70件)から、来園者の目的・属性・その日の状況などにさまざまな違いがあることを確認しました。そこで、園内の回り方も一種類ではなく、来園者に合わせた複数のルート提案が必要だと考え、「こんなコンセプトがあったらいいな」という学生視点で9個のルートコンセプト案を考案しました。

6月10日には、シール投票形式のアンケートを実施し、9つのコンセプト案の中から177名の来園者の方に興味深いと思うものを1つ選んでいただきました!その結果、「初心者向け(人気動物を中心に回る)」「生態観察(動物の生態・行動をじっくり観察)」「短時間で満足(短時間で効率的に回る)」の3つに投票が集中し、この3コンセプトに絞り込みました。

続いて6月17日・21日には、紙とGoogleフォームの2形式で、この3つのコンセプトの詳細についてアンケートを実施し、66件の回答をいただきました!ただし、まだ十分な件数とはいえないため、7月にも引き続きアンケートを実施する予定です。

動物園ルートの3つの分類 シール投票アンケート

目的や状況に合わせて、あなたにぴったりのルートを選ぼう!

それぞれの中から「行ってみたい!」「自分に合いそう!」と思うルートにシールを1枚ずつ貼ってください。

来園者タイプ別	目的・体験重視	環境・状況対応型
1 初心者・定番観望 はじめての人に おすすめ! 人気スポットを しっかり回る シールを貼るここ	4 健康増進・お散歩 体を動かしたい人! 自然の中で リフレッシュ シールを貼るここ	7 雨の日 雨でも楽しめる 屋内中心の ルートで快適に シールを貼るここ
2 子ども連れ 小さなお子さま連れ でも安心! 休憩や楽しさ重視の ルート シールを貼るここ	5 写真・映え重視 SNS映えるスポットを 中心に回る シールを貼るここ	8 季節限定 季節のイベントや 動物の見どころを 楽しむ! シールを貼るここ
3 短時間で満足 時間が無い人に ぴったり! 効率よく見どころ を回る シールを貼るここ	6 動物の生態が観察 じっくり観察したい人向け! 生態や行動を 深く学べる シールを貼るここ	9 混雑回避 人が少ない時間・ エリアを選んで 快適に! シールを貼るここ

初心者・家族・時間がない人など、
“利用者属性”を軸にした分類!

体を動かしたい人、
“体験価値”が中心の分類!

雨・季節・人の多さなど、
“外部条件への対応”を目的とした分類!

ご協力ありがとうございます! 皆さまのご意見を参考に、より良いルートづくりを目指します。

動物園ルートの3つの分類 シール投票アンケート

目的や状況に合わせて、あなたにぴったりのルートを選ぼう!

それぞれの中から「行ってみたい!」「自分に合いそう!」と思うルートにシールを1枚ずつ貼ってください。

来園者タイプ別	目的・体験重視	環境・状況対応型
1 初心者・定番観望 はじめての人に おすすめ! 人気スポットを しっかり回る シールを貼るここ	4 健康増進・お散歩 体を動かしたい人! 自然の中で リフレッシュ シールを貼るここ	7 雨の日 雨でも楽しめる 屋内中心の ルートで快適に シールを貼るここ
2 子ども連れ 小さなお子さま連れ でも安心! 休憩や楽しさ重視の ルート シールを貼るここ	5 写真・映え重視 SNS映えるスポットを 中心に回る シールを貼るここ	8 季節限定 季節のイベントや 動物の見どころを 楽しむ! シールを貼るここ
3 短時間で満足 時間が無い人に ぴったり! 効率よく見どころ を回る シールを貼るここ	6 動物の生態が観察 じっくり観察したい人向け! 生態や行動を 深く学べる シールを貼るここ	9 混雑回避 人が少ない時間・ エリアを選んで 快適に! シールを貼るここ

初心者・家族・時間がない人など、
“利用者属性”を軸にした分類!

体を動かしたい人、
“体験価値”が中心の分類!

雨・季節・人の多さなど、
“外部条件への対応”を目的とした分類!

ご協力ありがとうございます! 皆さまのご意見を参考に、より良いルートづくりを目指します。

アンケートの実施にあたっては、よこはま動物園ズーラシアの皆様、そして多くの来園者の方々にご協力いただき、心より感謝しております。今後は、これまでのシール投票やアンケートの結果をもとに3つのコンセプトの優先度を決定し、優先度の高いものから内容を具体化していきます。最終的には、来園者のニーズに応じたルートパターンを、誰にでも分かりやすいマップ形式で作成し、来園者の満足度向上に対する効果を確認していきたいと考えています。マップの完成に向けて、今後もチーム内で協力しながら取り組んでまいります!

動物園ルートの3つの分類 シール投票アンケート

目的や状況に合わせて、あなたにぴったりのルートを選ぼう!

それぞれの中から「行ってみたい!」「自分に合いそう!」と思うルートにシールを1枚ずつ貼ってください。

来園者タイプ別	目的・体験重視	環境・状況対応型
1 初心者・定番観望 はじめての人に おすすめ! 人気スポットを しっかり回る シールを貼るここ	4 健康増進・お散歩 体を動かしたい人! 自然の中で リフレッシュ シールを貼るここ	7 雨の日 雨でも楽しめる 屋内中心の ルートで快適に シールを貼るここ
2 子ども連れ 小さなお子さま連れ でも安心! 休憩や楽しさ重視の ルート シールを貼るここ	5 写真・映え重視 SNS映えるスポットを 中心に回る シールを貼るここ	8 季節限定 季節のイベントや 動物の見どころを 楽しむ! シールを貼るここ
3 短時間で満足 時間が無い人に ぴったり! 効率よく見どころ を回る シールを貼るここ	6 動物の生態が観察 じっくり観察したい人向け! 生態や行動を 深く学べる シールを貼るここ	9 混雑回避 人が少ない時間・ エリアを選んで 快適に! シールを貼るここ

初心者・家族・時間がない人など、
“利用者属性”を軸にした分類!

体を動かしたい人、
“体験価値”が中心の分類!

雨・季節・人の多さなど、
“外部条件への対応”を目的とした分類!

ご協力ありがとうございます! 皆さまのご意見を参考に、より良いルートづくりを目指します。

▲シール投票形式のアンケート結果

医療健康科学部 村田 渉 先生主担当プロジェクト

海外大学との国際交流、キックオフミーティングを実施しました！

活動テーマ RED-RINGプロジェクト：

～放射線教育の自走化に向けた標準教材の完成と普及基盤の整備～

本プロジェクトは、ゲームなどを通じて放射線を楽しく学べる教材を開発し、その普及を目指しています。

5月20日、タイ・Rangsit大学との国際学生交流会で、放射線の基礎講義と本プロジェクトが開発したカードゲーム「放射線ブラックジャック」を実施しました。英語での進行に不安もありましたが、ゲームを通じて楽しみながら学ぶことで、タイの学生との交流を深めることができました。国際的な視点から放射線教育を見つめ直す貴重な機会にもなりました。交流会で得られたアンケートは現在解析中で、学会発表に向けた準備を進めています。



▲ Rangsit大学との交流会の様子

6月4日にはキックオフミーティングを開催し、プロジェクトの目的や年間の活動内容、今後のスケジュールを共有しました。メンバー全員が活動の流れを確認し、今後の活動に向けて気持ちを一つにする機会となりました。

今後も、放射線への理解を深めてもらえるよう、メンバー全員で協力しながら活動を続けていきます。



▲ 「駒大生社会連携プロジェクト」採択決定通知書交付式にて

法学部 逢坂 巖 先生主担当プロジェクト

世田谷区選挙管理委員会と連携し、区内の小学校で出前授業を実施しました！

活動テーマ 選挙リテラシー向上のための世田谷選挙管理委員会との協業

6月30日と7月7日に世田谷区立中丸小学校と同区立旭小学校で選挙に関する出前授業を行いました。この出前授業では2年生が中心となって世田谷区の選挙管理委員会と連携して小学生と一緒に選挙について学びました。

6月30日は中丸小学校で出前授業を行いました。小学生たちは真面目に話を聞き、メモを取り真剣に取り組んでいました。そして模擬選挙も行いました。小学生たちは初めて間近で見る投票箱に興味津々でした。最後に各クラスから感想を聞くと「その情報が本当かどうか確かめることが大事だと思いました」という感想があり、今回の出前授業が小学生たちに選挙リテラシーについて考える良い機会になったと思いました。18歳になったときこの出前授業を思い出し、投票してほしいと思いました。



▲投票後の開票作業の様子



▲小学生と近距離で交流する候補者

7月7日は旭小学校で出前授業を行いました。前回の中丸小学校での反省を活かし、少し台本をアレンジし、アドリブ等を含めた児童とのコミュニケーションを重視するものにしました。小学生たちは候補者と直接の交流を楽しんでいる様子でした。その成果もあり、小学生の皆さんは始終真剣に候補者の話を聞き、投票先を検討していました。候補者と投票者の距離が近かったことが、前回とはまた一風変わった空気を作り出していました。また、小学生の皆さんからは「選挙に行くのが楽しみ」「親や友達と選挙について話してみたい」といったお声をいただきました。まさに、私たちが目指す若者の選挙リテラシー向上への第一歩を踏み出せていると思います。

○模擬選挙の様子



▲本物の記載台で記入する小学生たち

模擬選挙の構成やどのような候補者にするか公開討論会の内容など学生中心となって考えました「もう一回投票できるなら、投票先を変えますか」という問いに対し、小学生たちは一生懸命考えていました。投票は一回きりのため、慎重に考えることが大事と学びました。



▲候補者と交流する小学生たち

7月7日の旭小学校での出前授業では、休憩時間に候補者と小学生たちは楽しそうに交流している様子が見られました。候補者にサインを求める小学生や、楽しそうに会話する小学生など様々な交流の仕方が見られました。候補者と小学生たちの直接の交流は30日の中丸小学校での出前授業では、なかった光景でした。小学生たちも実際に候補者との交流を経験することで楽しく学ぶことができ、選挙リテラシーの向上にもなるのではないかと思います。

経営学部 青木 茂樹 先生主担当プロジェクト

駒コレ始動！古着&コスメ回収スタート！

活動テーマ Komazawa Used Collection (駒コレ) ～新しいサステナブルの形～

「Komazawa Used Collection (駒コレ) ～新しいサステナブルの形～」は、サステナブル・ファッションをテーマに、衣類や化粧品などの資源を有効活用しながら、SDGsについて楽しみながら学ぶ機会を創出するプロジェクトです。オータムフェスティバルで開催するサステナブルファッションショーを中心に、「ファッション」「謎解き企画」「コスメ企画」の3つの活動を展開し、環境問題や資源循環への関心を高めることを目指しています。

○ファッション

昨年に引き続き、今年もサステナブル・ファッションショー「駒コレ」の開催に向けた準備を進めています。ブラックラムズの皆様をはじめ、さまざまな方々と意見交換を行いながら、より魅力的な企画づくりを進めています。

また、学内に加えて上馬まちづくりセンターにも古着回収ボックスを設置し、地域の皆様と連携した古着回収を実施しています。回収した古着は、オータムフェスティバルで開催予定のファッションショーやフリーマーケットで活用する予定です。

今後は、オータムフェスティバルに向けた準備を進めるとともに、サステナブル・ファッションや衣類の循環について多くの方に知っていただけるような活動を展開していきます。



▲古着回収企画のポスター

○謎解き企画

謎解き企画では、オータムフェスティバルで実施するSDGsをテーマにした体験型イベントの制作を進めています。

参加者が楽しみながら環境問題や持続可能な社会について学べるよう、SDGsに関連した謎の内容やストーリーを考案し、当日の進行方法についても検討しています。

遊びを通してSDGsへの理解や関心を深めてもらえるよう、より魅力的な企画となるよう準備を進めています。

○コスメ企画

コスメ企画では、使わなくなった化粧品を回収し、コスメアートの制作に活用する取り組みを進めています。現在、学内3か所に回収ボックスを設置し、学生から不要になった化粧品を集めています。

また、化粧品に関する動物実験の問題についても考える機会をつくり、環境や生き物に配慮した化粧品のあり方について発信しています。

廃棄される化粧品に新たな価値を生み出すことで、資源の有効活用や環境問題への関心を高めることを目指しています。

捨てられるコスメに、
新たな命を。

回収したコスメで
アート作品を制作！
オータムフェスティバル
にて展示予定！

使い終わったコスメが、
アート作品として生まれ変わります。

アートで伝える、
やさしい未来。

捨てられるはずだったコスメを回収し、
アート作品として新たな価値を創造します。
コスメの可能性を広げることで、
サステナブルな未来を共に創りましょう。

なぜ回収するの？

- まだ使えるコスメが捨てられています。
中身が残っていても、使い切る前に捨てられてしまうコスメが数多く存在します。
- 環境への負荷を軽減します。
コスメの廃棄は、プラスチックごみ問題やCO₂排出量の増加など、環境に多大な負荷をかけます。
- アート作品として生まれ変わります。
回収したコスメの色や質感を活かし、アート作品として新たな生命を吹き込みます。

回収できるもの。

- 未使用の化粧品。
- メイク用品。
(口紅・アイシャドウ・チーク・ファンデーション・パウダー・マスカラ・アイライナー・マニキュア など)
- 割れてしまったコスメ。
(パウダーやファンデーションなども可)

回収できないもの。

- × スキンケア製品
- × 使用期限が大幅に過ぎたもの
- × 医薬品、サプリメント
- × 液漏れしているもの
- × 中身が判別できないもの

回収期間。

7.3 金 7.21 火
7月3日(金) 7月21日(火)

設置場所例。

- ・3号館1F 食堂前下 (2箇所)
- ・2F 正面入口横 (1箇所)

校内計 3 箇所に回収BOXを設置！
※詳しい設置場所は、学内掲示板や公式SNSなどで告知いたします。

【主催】
駒澤大学 経営学部
青木茂樹ゼミ

お問い合わせ・公式SNS

直接お問い合わせは、メールに。
メールはこちら
aoki.sem3@komazawa-u.ac.jp

@AOKIZEMI_KOMAZAWA

▲コスメ回収企画のポスター